



法人屋舎建替え中 来年2月の竣工に向けて順調に進んでいます

「3年で、3人の後継施設長を育成して欲しい」との使命を受け10月1日、阿佐谷生活園長を拜命致しました。社会福祉法人いたる臨床発達指導センターは、昭和42年に、認可を受け、44年の年輪を刻んでおります。阿佐谷生活園も、昭和50年に開設された36年の歴史があります。その基本理念・基本方針を確認し、全国社会福祉施設経営者協議会が示している「アクションプラン2015」に基づいて施設運営をして参ります。まさに「古きを訪ねて新しきを知る」ことです。勤続年数5年未満、平均年齢35歳の職員集団は、エネルギーシユです。その若い職員集団と「できる人が、できる時に、できる事

を」を合言葉に「自分みがき」・「共育ち」をめざします。自分自身の目標設定、役割確認、日々の業務の洗い出し、各々の任務分掌、コスト意識の確立、支援サービスの基本学習、専門分野の学習、サービスクオリティの向上、人権尊重、地域社会への貢献、地球環境保全、福祉施設職員としては勿論、「お役に立てる人」になるように、阿佐谷生活園というステージで役割を演じて戴きます。各人が、起業家として独立し、経営・運営ができるようにドラッカーのマネジメントもきっちり体得するためのトレーニングも日々の業務を通じて実践して戴きます。「人と人の出逢いは神様からの贈り物」昨年6月、

主な経歴

- 昭和49年 (社福) 健誠会設立準備事務局入職
- 50年 知的障がい者更生施設月見野園事務局長就任
- 51年 同 次長就任
- 55年 (社福) 森田村社会福祉協議会 (出向) 事務局長就任
- 56年 (社福) 健誠会 月見野園長就任
- 平成7年 東京都委託 知的障がい者更生施設つがるの里(異動) 園長就任
- 22年 (社福) 全国スモンの会 身体障がい者更生施設曙光園施設長就任
- 23年 (社福) いたるセンター 阿佐谷生活園長就任



今 秀則 (こんひでのり)

いたるセンターの顧問弁護士 副島洋明氏が主催する「福祉施設等で障がい者の拘束禁止・人権尊重」に関する研修会 (次ページへ)

「温故知新から温故創新での共育ち」

社会福祉法人いたるセンター 阿佐谷生活園 園長

いたる通信 42 秋号

目次 contents

- 01 巻頭言
- 02 あけぼの作業所 目黒本町福祉工房 開設準備室
- 03 グループホーム サポートウイズ いたる相談室
- 04 パン工房 「PUKU PUKU」さんまるしえ園 阿佐谷生活園

いたる賛助会入会のご案内

「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。

年会費 105千円 (何口でも可)

郵便振り込み 00107 128992

(問) 33927346 事務局 蓬田まで



美味しそうなパンが焼きあがりました http://itarunopanventai.blog77.fc2.com/

パン工房 「PUKU PUKU」

地元の小学生の3年生、6年生を対象として、パン教室を8月10日に開催いたしました。5名の小学生の方が参加して下さいました。プクプクの利用者スタッフの指導の下に、今回はメロンパンをはじめ10種類の菓子パン作りを楽しんでいただきました。

参加された保護者の方からは、利用者スタッフと触れ合う姿を見て、「言葉使いがやさしく感じられます。」などの声もいただきました。子供たちにとっても、利用者スタッフにとっても、大変意義的

【秋を飾る新商品】

- ソーセージロール 200円
- Wおさつスイーツ 190円
- きのことベーコンのピザ 220円
- シナモンロール 210円
- じゃがコロブレッド 1本 380円
- ハーフ190円



あるパン教室となりました。プクプクでは、これからの地域の方々と交流を深めながらパンを通じて食育に貢献していきます。

秋の新商品

秋の食欲をそそる新商品です。詳しくは、ホームページをご覧ください。

「Sun Marche」 (目黒本町福祉工房) 併設福祉ショップ

目黒区内にある14の福祉施設が作り出す商品をお客様にご紹介、販売を致しておりますが、14の施設とは趣向をこらしたフェアを開催しお客様に施設の紹介、商品の販売を行っております。

9月29日から10月4日まで、特定非営利活動法人SUNと「エコきれいなフェア」を開催し、施設の作る「アクリルたわし」や「洗濯石鹸」を販売致しました。

開催期間中には、施設職員の方や利用者の方がチラシ配りをしたり、店頭での販売お手伝いをしていただいたりもして社会参加の場にもなっています。

今後も定期的にイベント開催を行います。ご来店お待ちしています。



さんまるしえの店舗の様子と商品の例です http://sunmarche.blog.fc2.com/

阿佐谷生活園

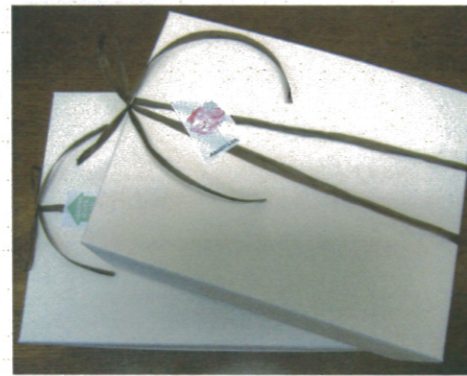
ギフトラスク

阿佐谷生活園就労継続B型菓子グループのメンバーがひとつひとつ丁寧に作り上げたクッキーとラスクのご紹介です。

厳選された素材を使用し、国産小麦と天然酵母で焼き上げたパンをラスクに仕上げました。卵を使用せず素材の味を生かしたこだわりのクッキーは10月よりむらさきも、11月にはクルミ、12月にはスノーポールを季節限定で販売致します。新作のラスクも登場予定です。是非一度ご賞味ください。

ギフトセットも承っております。大切な人への贈り物には是非ご利用ください。

ギフト梱包の一例



ギフト梱包の一例

- \*クッキーセット\* 6つのスティックタイプのクッキーが選べるギフト。 ¥1710 (税込)
- \*ラスクセット\* 5つのSサイズのラスクが選べるギフト。 ¥1630 (税込)
- \*ラスクとクッキーセット\* 4つのクッキーと5つのラスクが選べるギフト。 ¥2640 (税込)

いたる広報委員

発行責任者=谷山 哲浩

社会福祉法人いたるセンター 〒167-0032 東京都杉並区天沼1-15-18 TEL: 03-3392-7346 FAX: 03-3391-8039 Eメール: info@itarucenter.com HP: http://www.itarucenter.com/ 発行日/平成23年11月1日

ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。いたる広報委員まで。



クッキー115円～・ラスク262円～



(前ページより)  
 で谷山哲浩理事長との出逢いとご縁を戴きました。地球狭しと駆け巡った体験談、中村天風先生の生き方の実践、ドラッカーのマネジメント、障がい者の自立論、ソーシヤルフーム、自給自足による安全な食生産加工販売、仕事づくり、おぎやから墓場までのトータル福祉等々、次から次へと話題が尽きませんでした。その直後、解体前の阿佐谷生活園を訪問致しましたら、設計者と新居舎の打ち合わせをしておりまして「必ず起きる東海・東南海地震でも耐え

うる耐震構造の施設を創り、地域住民の避難所としての機能も果たす。それが、いたるセンターがこの地域でお世話になってきた事への恩返しだ」との説明でした。職員のBDF寄贈や震災地でのボランティア活動報告の「夕活」に参加する機会も戴きました。また、各事業所訪問等を経て「監事」という立場でいたるセンターとの関わりを深める事になりました。それが、青天の霹靂10月から、阿佐谷生活園の施設長という現場でお手伝いをする事になりました。昭和49年知的障がい者施設

の創設、平成7年東京都委託施設の開設・運営、平成20年身体障がい者施設のリニューアル等、レール敷き、リセツトを体験致しました。これまでは、施設の「運営」のみで、「経営」は初めての体験です。利用者の命の安全、保護者の安心、職員の心身の健康管理、施設法人の健全経営等に貢献できるよう精進致します。「温故知新から温故創新での共育」ができる人ができる時にできることを「ご協力」とご指導をお願い致します。感謝・合掌

**目黒本町福祉工房開設準備室**  
**新団長日記**  
 雑景「昇り降り」  
 朝、目黒駅の階段を上るところから一日がスタートする。中央線の荻窪駅が階段を降りるところからのスタートから思えば随分と勝手が違うことに気付く。まさか風士までは違うまいと思いつつこの街に慣れ親しむことと、ダイエツトを兼ね工房までの道を散策している。目黒通りに面した黄色と茶色のツートンの6階建てのビルが新天地の福祉工房だ。ここではエレベータを昇ることから仕事が始まる。今までこんなエレベータを利用したことがないので若干気がひけるのを感じている。「これからはなるべく階段を使おう」と密かに誓っているのだが、・！やはり6階までの昇り降りはかなりしんどい。1階には店舗と事務所、そしてターナーブル付の駐車場がある。中型バスが壁スレスレに回転する様は圧巻だ。バスからリフトが昇降する度に車椅子に乗った利用者が笑顔とともに降りてくる。「さあ一緒に今日を始めようじゃないか」そんな気持ちが体

内にみなぎってくる瞬間だ。こうして日に何度も昇り降りを繰り返しながら、少しずつ新しい環境に馴染んでいくのだらうと思った。  
 室長 村瀬 史貞 (むらせ ふみつぐ)  
 開設準備室立ち上げスタッフ

### あけぼの作業所

所長 阿久津 庄司 (あくつ しょうじ)

#### 村瀬前所長より引き継いでこれからの展望

この度、10月1日付であけぼの作業所の所長に就任いたしました阿久津庄司です。あけぼの作業所とは、設立以来浅からぬ縁があり、メンバー中のかかりの方が前職場の阿佐谷生活園で実習をされていたり、併設するクローバーを利用されていたりと面識のある方が多くいらつしやつて非常に親近感を抱いていました。しかしながら、いざあけぼのの所長という立場で関わら

せていただくと思うと、その責任の重さをひしひしと感じているところです。現在の心境としては、一日も早くメンバーさんとスタッフ全員に仲間として受け入れていただけるよう努力し、あけぼの作業所の使命である「メンバー一人ひとりが働くことを通じてやりがいや張り合いを感じ、日々の生活を充実して送っていただくこと」を模索し日々実践していければと考えています。

あけぼの作業所という「チーム」に所属する全員が、笑顔と思ひやりに溢れ、それぞれの夢や思いに共感し応援しあう。そんな「チーム」の一員としてその「チーム力」が少しずつでも向上していけるよう努力してまいります。

**被災地支援**  
 チャリティーバザー  
 10月15日開催  
 あけぼのまつり時に今春、区で行った救援物資の残ったものを提供していただき、経費を除いたものを南相馬市に義援金としてお送りしました。ご協力くださいました皆様ありがとうございます。  
 いたるセンター義援金  
 一刻も早い被災地の復興を願うとともに、ご協力いただいた皆様にも心より感謝申し上げます。引き続きご協力のほどよろしくお願ひいたします。  
 義援金は、杉並区経由で福島県南相馬市へ送っております。  
 問 33927346 本部 谷山まで



異動に伴う引き継ぎの様子

### グループホーム&ケアホーム

現在、10軒のホームを運営しています。～家庭の雰囲気できつろげる場所～

2 ホーム合同誕生会開催しました。ブルースとワルツ1名ずつ該当者様がおられ和気あいあいと行われました。また出席者様の中には社会資源では欠かせない方々も参加して頂きました。お一人の生活を支える為に大勢の方がいらつしやり、地域で支え合つて生活を安定されていると実感しました。

日頃から各ホームで開催している誕生会ですが、地域に密着するホーム・地域に貢献するホームとなるようしてまいります。



家族や近隣の方を交えた誕生会の様子

### サポートウイズ

移動支援で社会参加

サポートウイズは、障害者居宅介護・重度訪問介護・地域生活支援事業(移動支援)・同行援護・介護保険訪問介護・予防訪問介護と行うように多くの事業を行っております。

特に際立っているのは「移動支援」で地域で生活されている障害者を持たれている方たち(特に知的障害)が余暇を利用しながら社会参加をし、多くの方たちとの交わりや色々な楽しみを見出して頂けるよう努めております。また、



移動支援を利用して気心の知れた仲間であらゆる活動(日帰り山梨へ)

介護保険事業では地域で暮らす高齢の利用者様に生活のお手伝いをさせていただいております。健康者も障害者も高齢者も皆平等が「サポートウイズ」の基本です。

この法律は、養護者、障害者施設職員、雇用主などによる障害者への虐待を防ぐ目的で制定されました。虐待を見つけた人は、すみやかに、市町村に通報の義務があります。杉並区は、児童のシステムとして、子ども家庭支援センターが要保護児童対策地域協議会(虐待未然防止推進協議会)を開催し、地域のネットワークを作っています。また、高齢者は、高齢者虐待対策関係機関連絡会というネットワークと行政担当窓口がケア24(地域包括支援センター)と連携して支援を行っています。障害者の虐待防止は、まず発生させないことが大切で、それには、支援者側では、利用者本人への適切な理解、支援スキルの向上、支援者のチ

成23年6月17日、参議院本会議で障害者虐待防止法(障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律)が賛成多数で可決・成立し、平成24年10月から施行されます。高齢者や児童には、すでに防止法が制定され、待ち望まれていた法律です。

**安全・衛生管理**  
 当法人では、各事業でサポートウイズをご利用される皆様安心して過ごしていただくために、専門の方や看護師の指導のもと安全・衛生に関する取り組みを定期的にスタッフミーティングや職員研修時に実践訓練を取り入れた研修を行っています。



誤嚥に関する研修の様子